

令和5年11月15日

昭和村教育委員会教育長 小野 和好様

昭和村統合小中学校建設委員会における

建設予定地決定の見直しに対する要望書

要望者

昭和村立南小学校保護者有志代表

住所

子育保育園保護者有志代表

住所

### 【要望書提出の理由】

本年 10 月行政区回覧板で昭和村の学校統合の建設予定地が決定したと教育委員会からの通知があり、突然の決定通知に南小保護者は非常に動揺しております。昭和村ホームページに掲載されている議事報告等を確認した保護者から多くの意見が出てきたので、この度「昭和村統合小中学校建設委員会における建設予定地決定の見直しに対する要望書」として提出いたします。

### 【要望書提出の目的】

11 月末から開催される説明会を「進捗状況」「建設予定地決定について理解」のためにするのではなく、保護者、地域住民の意見を聞く機会とし、その意見を汲み取った上で、建設委員会にて再度検討していただきますようお願いいたします。そして再度建設予定地を決定するに当たっては建設委員会だけの投票とせず、村民全体の意見を取り入れる形式での決定方法をとっていただきたいと考えます。村の巨額予算をつぎ込んでの学校建設となるため村民全体の意見は重要と思えます。

### 【保護者の意見の概要】

保護者から集まった意見を見ると（1）建設予定地の決定までの過程（2）建設予定地（3）決定予定地に開校した時の運用面、についての要望に分類されます。

以下に主な意見を記載いたしますが、詳細は添付文書をご覧ください。なお、添付文書については保護者の意見をそのまま届けたいので文章の体裁は整えずに、届いた意見をそのまま記載しておりますのでご了解ください。

#### （1）建設予定地の決定までの過程

- ・建設委員の無記名投票は納得できない。
- ・建設委員の過半数に満たない候補地に決定することに疑問。
- ・2月の説明会以降、説明会が無く、いきなり予定地が決定したことに困惑。
- ・当事者（保護者）に意見が反映されていない。子供の数に合わせた投票権数が必要。
- ・学校は村の中心となるのもっと議論が必要。

(2) 建設予定地

- ・村の主要施設から遠い。
- ・畑より畠田んぼに建てた方が農業のためによいのではないが。
- ・運動公園付近は臭いが気になる。
- ・学校に近い所に新築で家を建てると聞く。宅地は下段が適している。
- ・通勤（教員・支援員）が不便になる。

(3) 決定予定地に開校した時の運用面

- ・スクールバス（バス運転手）の十分な確保ができるのか。
- ・冬の道路事情が不安。
- ・親の送迎がしにくい人が増える。
- ・コミュニティスクール化するにあたり地域との交流が希薄になるのでは。

統合学校予定地決定に対する南小保護者の声（全2ページ）

統合学校予定地決定に対する子育て保育園保護者の声（全3ページ）

以上

## 統合学校予定地決定に対する南小保護者の意見

### 統合学校建設予定地の決定までの過程に対する意見

- ・ 2月の統合説明会のときに動きを随時報告する旨だったが、何の報告もなく決定して困惑している
- ・ 賛成も反対も含めてもっと話が聞きたい
- ・ なぜ現在の建設予定地に決定したのか、しっかりと説明会を開いてほしい。PTAから要請してほしい。
- ・ 建設委員会の委員の投票っていう時点で地域の人、子供たちの事を考えてないのでは。本当に地域に寄り添うなら当事者が話し合い、投票するべき。
- ・ 今回の決定を無効にすべき
- ・ PTA役員で話し合いの場を設けてもらった方がいい
- ・ 学校現場や子育ての現状について当事者の方の意見交換が出来る場があるといいのでは
- ・ 建設予定地はどこでも賛否あると思うが、説明が全く無いことは納得できない
- ・ 通学バスとか学校行事とか不安なことが沢山あるので、学校に関係する色々な立場の人の意見を聞いてほしいと思います。
- ・ 登下校はもちろん子供達の学習などの面からも決定した明確な理由が分からない今の状態では賛成は出来かねるかな
- ・ 無記名投票は納得できない。建設委員一人一人が責任を持った選択理由を述べたうえで候補地を決定すべき
- ・ 委員の過半数に満たない候補地を決定とすることは甚だ疑問
- ・ 地域の子供の数にあわせた投票権を持たせなければ逆に不公平
- ・ 建てやすさや予算の問題ではなく子ども達将来、村の将来のため候補地を選択するべき
- ・ 建設委員会にかん口令を敷いて住民説明無しで議会までもっていきこうという意図が見える  
←行政、議会への不信感を持った
- ・ 大河原地区の児童のために早く統合をしなければとのことだが、そのために村の将来をこんな短期間で決めるのは納得できない。大河原地区の児童へのケアを充実させて統合についてはじっくり時間をかけるべきだ。東小へ大河原の児童を定期的に通わせる等、交流を増やすなどの現状を充実させる努力がある。
- ・ 学校は村の中心となるので、昭和村がどこを中心にしたいのか。もっと議論が必要。
- ・ 保護者の意見の入っていないPTA代表個人の投票での決定はおかしい

### 建設予定地に対する意見

- ・ 正直な意見だと、不便
- ・ 給食センター、地域活性化センター、公民館、保険センター等村の主要施設が建設予定地からかなり遠い
- ・ 近年、熊などの動物の目撃情報も多い

- ・賛成の方を批判する訳ではありませんが、便利になる人が圧倒的に少なくなりますよね。
- ・この少子化の時代に、新規で昭和に住みたいと思う人があの近くに建てたいと、どれほどの方が考えるでしょうか？とも思います。
- ・土地の問題など色々あるのですが、目の前の子ども達やその保護者の気持ち、意見を聞いてほしいと願います。
- ・現在の施設（中学校のグラウンド、体育館、社会体育館等）が使いやすいのは森下鎌沢地区だと思う
- ・一等地の畑よりも田んぼへ建設した方が農業が主産業の昭和村にとって相応しい
- ・災害時の拠点には村民が徒歩で行ける場所がよい。役場からの離れていない方がよい。
- ・塾、放課後デイサービス等の迎えが行きにくくなり、迷惑がかかる
- ・教員、支援員の通勤負担の増加になる
- ・運動公園周辺は牧場からの臭いが常に漂っている。保育園児や試合等で訪れた村外の人達からも臭いが気になると聞いている。農業に特化した場所に学校を建設することに無理があると思う。
- ・若い世代が学校に近いから下段に家を建てる、とよく耳にする。昭和村の方向性として下段を宅地化して人口増加したいのではなかったか？村の方向性と矛盾している。

#### 統合学校開校後の運用時に対する意見

- ・スクールバスが今以上に必要になるのでは無いでしょうか？
- ・総合グラウンドの所に建設するとして、送迎バスはしっかりとだせるのか。学年によって帰宅時間が異なったりするのに対応できるのか
- ・冬の道の心配
- ・現在も不足している運転手の確保ができるのか？  
←現状、通学が不便な地域へのスクールバスの確保ができていないのに本当にスクールバスの運行ができるのか、甚だ疑問
- ・排ガスが増える
- ・冬の時期には雪の心配など交通事情についてもどの程度のサポート等をしていただけるのか？
- ・子供達の授業についても低学年では町探検、職場見学など学校外での授業について建設予定地ですと難しいのではないかと？
- ・年配者の多い地域ボランティアの募集が難しくなる（地域との交流が少なくなる）
- ・緊急時の迎えが大変
- ・親の送迎がしにくい
- ・冬季の事故が増えると思う

現状、通学に負担が掛かっている家庭もあるので補助金等のサポートは必要（燃料、電動アシスト自転車等）

## 統合学校予定地決定に対する子育て保育園保護者の声

### 《不安な点》

3つの小学校を統合し、中学校を併設するところまでは説明会があったが、その後の報告が一度もないまま、設立場所を決めてしまった。私たちの意見を聞いてもらえる機会がないまま、進んでいくことになるのか。聞いてもらえたとしても揉み消されてしまうのではないが。

### 《私たちの届かぬ意見》

建設委員会に招集をかけた村長が自ら入り、委員長までやっているのはおかしい。余計なことは言わないようにと釘を刺される委員会など存在価値はない。建設委員会の資料が公表されずに秘密裏に行われたことは不信感を生む。その結果責任の所在があやふやになっている。教育委員会事務局は私たちは決めていない、建設委員は当局（教育委員会）が当局がと連呼している。私たちの質疑に関してたらい回しにされている。責任転嫁できないような組織に立て直してほしい。どこの市町村の学校統合をみても、村長が入っているところは見当たらない。調査研究が足りていないのでは？

村のホームページにオール群馬移住フェアに昭和村も参加とあった。学校の位置は子育て世代には重要な要素であるが、この状態で移住者を見込めるのか。

旧久呂保農協跡地の分譲の話も出ているようだが、間違いなくスクールバス通学となる土地に誰が家を建てるのか。

移住者を増やそうとすることと矛盾していないか。

人のいない真っ暗な場所に学校を建てるのは、地域の目もなく不安。不審者対策はどうするのか。人口の多いところに建てるのが一般的ではないのか。野生動物の出現頻度も多く、危険な場所である。

建てやすさや予算の問題ではなく、目の前の子どもたちや村の将来のために候補地を決定すべき。とにかく急いで進めているようで見切り発車感が否めない。

視察先も昭和村が見る意味があるのか？と思えるような学校ばかりである。

土地選びに時間を費やしているのだからそこに重点を置いた訪問先を選ぶべき。制服や校歌、小中の組織や分掌などは決めやすいものであり、そこに重点を置く必要はない。公費で旅行になってしまうのは残念なので、報告書を村民にも公開するべき。

バス通学になるとしたら、9学年分あるがスクールバスの台数や運転手は間に合うのか。それぞれの待機場所に雨除けや風除けなどを用意してもらえるのか等も不透明。令和9年度の小中在籍予定者数は400名ほどいると予想されるが、放課時間もバラバラであり、どうやってバスを動かすのか。一度に沢山の運転手を用意すれば運転手の健康問題、高齢化問題も考えられて大事な子供の命を預けられるのか不安でならない。

誰がどこの場所に投票したのか、理由を述べ村民に公開しなからすべき。次回の村長選、議員選の参考にもなる。村内小中学校校長、PTA、保育園からの代表者は匿名でお願いしたい。

運動公園周辺は鼻を突くような異臭がする。現地に行けばわかる。臭いは風や気候により発生するもので、自然相手であり対策のしようがない。校庭を使用した体育や行事、ウィルス対策のための換気の際に、生徒児童が集中できないといった問題が出てくるであろう。

予定地周辺には畑が広がり、農業には喘息などを誘発するものもある。健康被害などは考慮していないのか。

意見の集約はGoogleフォームなどを用いれば、集約先が負担なく行えるので容易なはずだ。このこと以外にも村に提出する書類には不備がよくある。令和の選択肢がなかったり、Excelの計算式が直っておらず平成34年になっていたり、文書作成の勉強もして欲しい。修正ペンで直しているような箇所もある。以前暮らしていた自治体ではそのようなことはなかった。デジタル化した時代に沿ったやり方があるはずなので、自分たちの首をしめず、かつ効率よく仕事ができるように、研修時間を設ければ良いと思う。

冬は雪が積もる場所であり溶けにくいので、保護者による送り迎えなどの交通事情も考慮すべき。外の部活は練習に支障があるのではないかと。

給食センター、地域活性化センター、公民館、保健センター等村の主要施設

から離れてしまうので不便。買い物学習なども気軽には行けなくなる。

バスの中に置き去りにされる事件も増えている。その対策はしっかり取れるのか？教員の仕事を増やすことに繋がるのでは？バス通学する生徒を少しでも減らすべき。

建設委員の学識経験者（有識者）未定なのも納得がいかない。なぜそのまま進めたのか。真っ当なアドバイスをしてくれる人を入れて欲しい。

村づくりのビジョンとして、これから移住しようとしてる人のことを考えているのか？学校の場所は極めて重要である。予定地周辺は住宅地に転用されない地域であり、家を建てることは難しい。

未来の村づくりのビジョンも含めて教えて欲しい。ホームページによると村長からのメッセージは「子育てに優しい村づくり」、「安全で住みよい村づくり」と謳っているが、あの場所に学校を建てることはそれとかけ離れているのではないか。逆に昭和村を出て転校を考えている家庭もある。

統合説明会では、義務教育学校を予定してると言っていたが、上毛新聞（2023年6月28日）で延期と発表された。広報しようわやSNS等で随時報告していきたいと3月の説明会では言っていたのに何もなかった。これもしっかりと理由とともに村民に発表すべきと思う。

#### 《まとめ》

村民全員が納得いく場所に学校を建てることは難しいが、少しでも理解を得るための説明会はこれまでに開かれず、置いてけぼりのような心境である。配布された案内文書を読むと、各小中学校で行われる決定ありきでの説明会も不信感でいっぱいであり、眠りが浅くなってしまっている人もいる。これからの昭和村の発展を考えての結論は出せないものなのか。期待よりも不安が大きい。

昭和村は子育てに優しい自治体だと言われることも多かっただけに裏切られたようで非常にがっかりしている。

もっと村民からの声を真摯に受け止めてほしい。